

芸陽病院理念 精神科医療の専門家集団として、県民の精神保健の向上に努める

運営方針 1. 患者の権利の尊重と、適時適切な精神医療の提供

2. 県立病院の役割の自覚と、円滑な県内精神医療への努力

3. これまで努力して作り上げてきた医療資源・人的資源の発展と更なる有効活用

4. 地域に寄り添い、新しいものを取り入れていくとともに日々の業務改善に努める

行動方針 日々の工夫 柔軟な対応 役割の自覚

TAKE FREE 0円

患者権利 1. すべての人が、良質な医療を平等に受ける権利があります。

2. すべての人が、医療を受けるに十分な権利があります。

3. すべての人が、治療等に関して自分の希望を伝えとともに、治療方法などを自らの意思で選択する権利

4. すべての人が、個人情報について適切な権利があります。

5. 医療を受ける人は、医療従事者に協力を要する責務があります。

看護部理念 私たちは安全・安心・ぬくもりのある看護を提供します

看護部方針 対話・協働・学習・検証

看護部目標 より安全で必要な看護ケアを最大限提供する

1. 安全な看護業務をすることを目指す

2. 自己啓発の必要性を認識し、学ぶ

3. 地域に密着し、継続した看護を提供する

4. 組織の一員として病院経営に貢献する

医療安全管理の基本理念 安全で良質な医療を提供するためには、医療に関する安全管理を組織的に推進して、それが病院運営管理者の一義的な責務です。

私たち医療従事者個人個人が、事故の防止に向けた努力を重ねることはもちろん、皆様と協働して、主体的な参加も得ながら、組織的な取組みを進めるシステムを構築することにより、安全で安心な医療が受けられる環境を整えます。

県立芸陽病院 閉院のご挨拶

THANK YOU FOR 56 YEARS!!



さよなら、芸陽。

職員写真

CONTENTS

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 閉院のご挨拶 (山下院長・山内副院長・西田看護部長・福井事務部長)
- 3 ページ 寄稿 - 閉院に寄せて - (歴代院長・看護部長 他)
- 4 ページ 職員写真・浜田看護長の退職の挨拶

退職にあたり



芸陽院に就職13年目で安芸病院に転勤した。新たな看護に悩み、苦しみ、周りのスタッフに助けられ、経験を積み、6年後に希望で戻れた。今年、目標である35年勤続を果たし退職をする。苦しかったことも良い思い出として話せることは、幸せなことだと思う。昭和50年の芸陽院新築移転、平成24年の新築移転共に経験をしない。新病院をこの目で見たい気持ちは捨てがたいが、一市民として見守ってゆきます。お世話になりました。

1 BN 病棟 看護長 浜田 小夜

広報誌「ひだまり」号外
 - 閉院のご挨拶 -
 発行月 平成24年3月
 発行人 山下元司
 編集・制作 山本信平 →
 (作業療法士)

